



シニアの学び舎

第 29 号

2025. 4. 15

レイカディア大学だより 彦根キャンパス

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています。

第 47 期学生募集活動スタート

いよいよ、学生募集活動が本格的にスタートします。

今年度は「47期も出会いを大切に、ともに熱く共に楽しく」を活動スローガンとして、楽しく充実感が感じ取れる取り組みにして行きたいと考えています。

同窓会や、えにしの会、サポートの会の皆様には大変ご厄介になりますが、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年度はこれまでの取り組みの成果を継続しながら、在学生のアンケートや皆様のご意見を参考に、新しい取り組みを始めましたので、ご紹介させていただきます。

1) 新しい学生募集要項が作成されました。今までと違って冊子形式になっており、大変見やすくなっています。

内側に公開講座や学科見学会の案内、願書やアンケートも印刷されているために、配布活動時の作業等が軽減されると考えています。

2) 今年度は、彦根キャンパス独自の学校案内を作成しました。以前のものは草津キャンパスの記事が多く、彦根キャンパスの紹介が少ないというご意見を頂きましたので、大幅に改善しました。勧誘活動にお役立てください。

3) 「地域での回覧が募集活動に有効である」というご意見を基に、今年度は何ヶ所か回覧していただける地域を増やしました。



他にも学生募集会議を効率的に運営するために、SNSを活用したプロジェクトメンバーへの会議案内、調整会議の同日開催等と改善を図っております。

レイカディア大学彦根キャンパス 第 12 期サポートの会 代表 矢野喜司男

桜の花が咲き誇る美しい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。暖かな陽気が心地よく感じられるこの時期に、「シニアの学び舎」をお届けできることを大変うれしく思います。

12期サポートの会の立ち上げ以降、役員や会員の皆様が一丸となり、様々な企画・運営にご尽力頂いていることに心から感謝申し上げます。お蔭様で、会の活動がますます活気づいていると感じています。

サポートの会へのご入会を機会とし、現役時代の横のつながりに加え、期をまたいだつながりも生まれ、アクティブシニアとしての活動がより一層充実したものとなっていることと思います。

新たな挑戦や学びが、皆さんの活動に豊かさと刺激をもたらしていることでしょう。

47期学生募集活動も始まります。一人でも多くの方々に私たちの仲間となっていただけるよう、募集活動を展開してまいります。会員、現役学生、同窓会、えにしの会とそれぞれのお立場の皆様方の、なお一層のご協力とお力添えをお願い申し上げます。



大学だより 彦根キャンパス

園芸学科 【初めて新しい「はさみ」を使う】

◆ 46 期園芸学科では樹木の剪定作業を学習

12 月 17 日に北村先生による「枝を切ってみよう」



のテーマで樹木の名前や剪定計画の立て方、そして枝を切るための技術について講義を受けました。

実習では学生が 4～5 人のグループに分かれ、実際に持参した枝を剪定しました。

この日は事前に注文した剪定道具が届き、多くの学生は初

めて「はさみ」を使う記念すべき日で、講義は道具の使い方や安全面の注意事項の説明に続いて依頼者や自身の意図を基に剪定の計画を考える手順を学びました。例えば樹木を 2 年前の状態に戻すなど、樹種に合った樹形をイメージして計画します。

次に切り方の基礎の説明を受けました。先生は彦根の玄宮園の樹木管理も行うオーソリティで、様々なご経験からポイントとなる点をご教授頂きました。初心者の方は専門用語や枯らさず切る技術など脳から汗が噴き出すほどの情報に接して園芸技術の難しさを実感しました。



実習は講義内容の実践で、グループで枝の剪定計画を決め、カット位置をマークしたものを先生にお見せする作業から始めました。

学んだ知識を持って実際の枝を見ますが、なかなか難しいもので、グループで話し合いながら切るところを決め、枝切り後の結果は、概ね遠慮

がちで全体に明確な変化がわからない印象でした。

ところが、北村先生がその後手を加えると、枝が整然と整理され、変化が一目瞭然となりました。技術と経験の重要性を実感し、剪定作業でどれほど変わるかを体感することができました。

講義内容が豊富であったため、覚えきれない部分もありましたが、今後は経験を積んで樹木に向き合い、慎重かつ勇気を持って剪定作業に取り組んでいきたいと思っています。



Before

After

北近江文化学科 【在校生にインタビュー】

◆ 45 期生の小椋一衛（おぐら いちえ）さん



東近江市五箇荘町に在住です。小椋姓は小椋谷がある永源寺町に多い ろくろ師(木地師)の末裔です。

東近江市の市長とは親戚筋にあたります。

年齢は 82 歳です。クラスでは最高齢ではなく、まだ上にお 2 人いらっしゃるそうです。

私は電気のエンジニアとして、60 歳で電力会社を退社し、退職後は現役時代に取得した資格を生かした電気関係の会社を立ち上げ、80 歳まで働きました。

レイカディア大学への入学のきっかけは、草津キャンパスの地域文化学科（43 期）に在籍していた知人から勧められたことからです。

もともと歴史が好きなことから北近江文化学科を選びました。

入学して良かったことは、クラスで色々な方と出会えたことです。地図を見ることも好きで、松井善和先生の「古地図で訪ねる北近江」の授業が最も印象に残っています。

現在、課題学習で長浜市の「馬車道の研究」を始めている関係で、松井先生とは意見をお聞きするなどして交流を深めているところです。

◆ 46 期生の深川章人（ふかがわ あきひと）さん



「長年、農協関係の畜産関連の技術指導員を務めていましたが、退職後、歴史が好きだったこともあり、近江の歴史を深堀してみたくて、レイカディア大学彦根の北近江文化学科に入学しました。

年齢は 71 歳です、現在は近江八幡在住で、入学後半年た

ち、クラスの仲間とのきずなも深くなり、授業、課外学習、広報部会や、地域のボランティアで忙しい日々を送っています。」と話されています。

松井先生の授業では、現役時代に職場と縁があった大中の湖や、西の湖や安土山のかつての様子を記した古地図の紹介があり、大いに興味をそそられたとの事です。

今後は、室町、戦国、江戸時代はもちろんですが、天智天皇のころ近江にやってきた渡来人、また、もっと前から住んでいた祖先のことなども、さらに知識を深めていきたいとの抱負を語られました。

一方地元では、自治会長を 3 度務めたり、ベートーベンの第 9 コーラスの役員をしたり忙しい日々を過ごす活動家の側面もお持ちで、インタビューしながら聞き手もパワーを頂きました。

健康づくり学科 【選択講座の授業風景】

◆「運動とメンタルヘルス(ストレス対処)」と

「運動と心拍数」 2月7日(金)

45期生 講師:聖泉大学 多胡陽介准教授



今回の講義の狙いは、運動によるストレス軽減効果の実感と、自身のストレスとの向かい合い方や対処法についての理解を深めることでした。

午前は、座学でストレスの定義やストレスが人に与える影響やメンタルヘルス(精神的健康)とは何かといったことを説明され、運動がメンタルヘルスに有効であると、特に中程度の有酸素運動を定期的に行う事で効果が出るとの事でありました。

その後、4グループに分かれて各自のストレスや対処法についての意見交換が行われ、各グループは、和気あいあいとテーマについて話し合いをし、内容を発表されました。



午後の運動と心拍数の関連についての講義ではストレッチ解消の実践として心拍数の計り方や自分のターゲット心拍数を計算した後、有酸素運動である散歩を教室内の机等を移動させて全員で実践されていました。

講義の最後は、全員が輪になって椅子に座り、各種のストレッチ運動を先生の指導の下に実施されました。全員が乱れることなく気持ちよさそうに行われていました。

◆「ウォーキングのコース設定・続けるコツ」

健康とウォーキングⅡ 3月7日(金)

46期生 講師:飯田 忍宣先生

午前の座学は、ウォーキングの有酸素運動と筋力



トレーニングの有酸素運動を組合せて行うことで、機能低下による要介護・脳血管障害を効果的に予防することができ、筋肉が脳を活性化させること

で、健康寿命も延ばせることを学ばれていました。

午後は、屋外が強風と低温のため屋内での実技となり、音楽に合わせてのウォーキングと脈拍チェックを繰り返し自分の体調を確認、メインの10分間連続ウォーキングもなんのその、クラスの皆様余裕でした(少し堪えたかな?)。

最後は、クールダウン体操で、ホッとされていました。

第12期サポートの会 活動報告(2024年度下期)

園芸学科部会

◆ びわこ地球市民の森での間伐作業と椎茸菌打ち

3月11日、42期~46期の各学科在校生及び、サ



ポートの会メンバーの計49名が参加しました。

はじめに、森づくりセンターの平塚先

生より、2001年にスタートしたびわこ地球市民の森づくりのコンセプトについて説明がありました。

朝からの雨天の為、間伐作業は中止とし、間伐材有効利用の1つである「椎茸の菌打ち」をセンターの室内で行いました。先生から作業方法の詳しい説明の後、皆さんで木材運び、マーキング、穴あけ、菌打ち等の作業を分担して効率よく行いました。

午後はセンターの室内で、ノコギリを使って薪ストーブの燃料用に、またセンター来場者へのクラフト材料用に丸太切りを行いました。最後に使用したノコギリ等の道具の手入れの仕方を実演して頂き、皆さん怪



我もなく1日の作業を終える事が出来ました。1人2本ずつ菌打ちされた木材を持ち帰ることが出来、約2年後に椎茸が収穫できるのが待ち遠しいです。

今後も未来の子供達の為、自分自身の為、間伐作業を通じて植物・生き物と触れ合える場所作りの活動に取り組んでいきたいと思いました。

北近江文化学科部会

◆「なんでなん!?彦根城!!」

サポートの会北近江文化学科 43、44期が主催!

第1回(2/18(火))は彦根キャンパスでの座学。雪にもかかわらず48名の参加のもと、彦根城の概略や彦根城が世界遺産になるためのプロセスなどについて44期北近江文化学科の寺田修氏による説明がありました。



大学だより 彦根キャンパス

第2回(3/5(水))の彦根城での実地学習では、雨にも拘わらず、60名強の参加者が、熱心な説明を受けました。ガイドさんからは、「レイカディアの方々ですの、詳しく説明しないと！」という声も聞こえ、説明に熱が入っていました。



今後世界遺産に登録されればという期待と思いを持っての有意義な実地学習となりました。

健康づくり学科部会

◆ 健康レクリエーション交流会 2月26日



「雪は大丈夫?」「開催できる?」そんな心配が吹き飛ぶ快晴。

彦根キャンパスに響く笑い声、声援、歓声。50名の参加者が心ひとつにした、あっという間の2時間でした。「楽しかった」「みんなで考えるって大切」等の感想が聞かれ、少しは健康寿命延伸に寄与できたのではないかと感じた私達です。頭キラーン、心ふんわり、体ぴちぴちが、これからも続きますようにと願ってやみません。みなさま、ご協力ありがとうございました。

地域活動プロジェクト

◆ 愛知川河畔林の愛林活動 12月16日

地域活動プロジェクトの一大イベントである『愛知川河畔林の愛林活動』を実施しました。

当日は在学生、サポートの会、河畔林の会の皆様など100名近くの参加があり、最高の作業日和の中怪我もなく無事に行えた事に感謝いたします。前半は竹林の整備作業を行い、後半は太い竹を花器にしてお正月用の寄せ植え作りを楽しみました。

事前準備として8月からのミニ葉牡丹の育成や、花器にする太い竹の切り出し、細竹の斜め切り、

松・梅・クロガネモチなど材料の採取にご協力頂きました多くの役員やプロジェクトの皆様にご心より感謝申し上げます。このイベントを通して改めて「レイ大パワー」の力強さを感じることができました。

今後もこの活動により在学生、サポートの会、地域の方々との交流が続いていく事を願っています。



広報部 パソコン講習会

◆ ホームページ作成講習会

1回目12月19日、2回目1月22日

45、46期の広報部委員を対象にホームページ講習会が2回にわたり実施されました。

参加人数は在学生18人、サポートの会は8人でした。講師は1回目の基礎編を辻隆氏(44期園芸)、2回目の応用編を星野克幸氏(43期北近江文化)。

1回目の基礎編ではサンプルどおり作成することで、HPビルダーを学習。

2回目の応用編では、作成してきたデータをサポートの会の助言で完成させてサーバーにアップロードして、46期各学科の力作HPが完成しました。

彦根キャンパス学生生活のホームページをぜひご覧ください。

◆ パワーポイント講習会 3月10日

45、46期の在校生を対象にパワーポイント講習会が実施されました。

参加人数は在学生39人と過去最高の人数で、サポートの会は6人でした。

講師は藤尾義彦氏(44期北近江文化)。

大学祭、課題学習で作成した講習会資料を基に実際にやってもらうことで、今回の幅広い受講者に理解を深めてもらう作戦です。

今年度の「大学祭と課題学習」ではパワーポイントを使用した発表成果が目につくことでしょう。



《編集後記》

4月から47期学生募集活動が始まりました。一人でも多くの方がレイカディア大学に入学されるように、この「大学だより29号」が学生募集活動の一助になれば幸いです。

イベントを取材し、多数の参加者が楽しく活動されている姿をこの紙面から発信できるように努力致しました。

また、ご多忙の中、取材や原稿執筆にご協力いただきましたサポートの会の皆様にご感謝申し上げます。(K.H)

レイカディア大学だより彦根キャンパス

2025年4月15日第29号

発行：滋賀県レイカディア大学 (☎ 0749-21-6333)

彦根キャンパス サポートの会(広報部)

■ 彦根市大東町2-28 COZY TOWN内

(アル・プラザ彦根4階)

■ 彦根キャンパス

サポートの会ホームページ：

<http://lacamaibara.com/support/index.html>

